

言い残すこと： 皆さんの発展のために

- 「真に」新しいことを目指す。目標をもつ。
新手法を開発して、「新概念」を作り出す→ノーベル賞
真に新しい物質、手法、解析法、理論
- ◎ “人と同じことや真似をしても価値はない。
真似をしたらそこで終わりだ(大村智)”

○ **新たな環境を求める**。動くことを恐れない。機会があったら転任する。出来れば留学する。

• 人間至る処青山あり。

(私:9機関で研究を行った。最初の助手公募、最初の教授公募。分子研を無から作る手伝いをした。)(学生なのに他研究室の助手と共同研究、2人で論文発表 — お勧め出来ないが。)

• Quick-and-dirty experiment

= “やってみなはれ” 実験

面白いと思ったらどんな領域でもやってみる。**雑科学**というような**境界領域**(大村智)

○**欣求交流**: アイディアの交換。国際会議等でレベルの高い人ととことん討論、付き合う。

よい人間関係を構築。よい筍はよい竹林から
生まれる

○分野融合で新分野を:

電気化学 + 光化学 → 光電気化学

レーザー + 質量分析 → 画期的DNA解析法

レーザー + 質量分析 → フラーレン (画期的物質)

(英語を磨け。英語は記憶力でなく、慣れである。楽しんで進歩させよう。)

- **本質** : 得点稼ぎのような研究をしない。
- **人材** : 装置を買わないで人を買う。
- **教官本来の使命** : 研究と教育に集中 (教官人事と予算)。administrationは専門家に任せるように教官が自覚し、皆で努力。

新規なこと。あくまで人真似をしない。
至誠天に通ず。

(大村智 2億人を病魔から救った化学者 : 馬場練成著)

補：論文タイトルの付け方

○主体は何かをはっきり強調

“現象 of 物質名”

例 1 : “Vib.-induced ultrafast electron transfer of 物質名” (新現象の発見の時には物質名はない方がよい)

例2 : “イベルメクチン：寄生虫由来疾病の新規特効薬” (物質名が中心)